

大分県厚生連健康管理センターからのご案内

心配するより、 まずは健康チェック

4月・5月はお得なキャンペーン期間
指定の検査を無料でプレゼント!!

※詳細については、当センターにお問い合わせください。



送迎バスで
お迎えに参ります!!

住民の方なら誰でも
ご利用できます

日程・集合場所等につきましては下記のお問い合わせ先までご連絡をお願いします。

送迎バスご希望の方はこちら【お問い合わせ先】TEL 0977-23-7112 まで

健康管理センターの特色

1 充実の健診コース・オプション検査

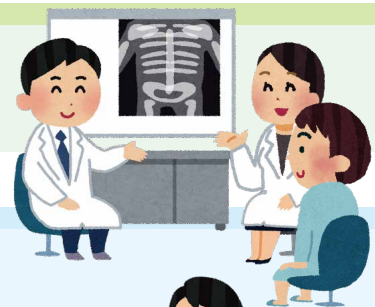
当日コースの変更も可能です。
さらに気になるオプション検査も当日追加することができます。

2 診断結果は当日ご説明

医師・保健師により診断結果をご説明。
精密検査の予約も併設施設の鶴見病院へスムーズに予約を取ることができます。

3 ご希望の健診日で健康診断

お仕事やご自身の都合に合わせて健診予約を取ることができます。
診断書も当日お渡ししています。
※バスの送迎も行っております。詳しくは裏面へ



施設認定 人間ドック・健診施設機能評価認定 Ver 3.0 マンモグラフィ検診施設画像認定



感染拡大防止にご協力ください

- 入口での検温と体調確認の実施
- 健診会場の各所に「アルコール消毒液」の設置
- 各階、空気清浄機や窓の開閉による「換気」の実施



昼食は管理栄養士監修!
ご用意しています。

年に一度は
体の点検だと思って
人間ドックを
受けませんか?



大分県厚生連 健康管理センター

〒874-8585 別府市大字鶴見4333番地
TEL 0977-23-7112(代) FAX 0977-23-7976

大分県厚生連健康管理センター

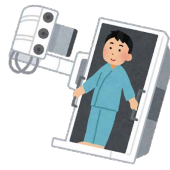
検索



特定健診や人間ドックと合わせて がん検診が受けられます

胃がん検診

最低でも2年に1回
胃部X線検査か胃内視鏡検査



- **検査項目**
問診
胃部X線検査
胃内視鏡検査
- **内容**
バリウムと発泡剤を飲んで、胃のX線写真を撮るか、口から細いカメラを挿入し、胃の中を直接観察します。
- **二次検査**
胃部X線検査の精密検査 → 《胃内視鏡検査》
胃内視鏡検査の精密検査 → 《胃内視鏡検査の再検査と組織検査》
口や鼻から内視鏡を入れて、潰瘍やポリープ、がんなどがないかを検査します。また必要に応じて悪性の組織が混じっていないか、組織を採って（生検）調べます。

大腸がん検診

年に1回

- **検査項目**
問診
便潜血検査
- **内容**
便に潜む血液の有無を検査します。大腸がんやポリープがあると便に血が混じることがあり、それを専用の容器で採取し、提出します。



- **二次検査**
《全大腸内視鏡検査》
肛門から内視鏡を入れてポリプやがんなどがいないかを検査します。また必要に応じて悪性の組織が混じっていないか、組織を採って（生検）調べます。
※全大腸内視鏡検査が困難な場合は、S状内視鏡検査と注腸X線検査の併用で行うこともできます。
- **Q. もう一度、便潜血検査の再検査をしてもいいですか？**
便潜血検査の再検査は不適切です。進行性の大腸がんでも、検査を繰り返すと、陰性になることがあります。

肺がん検診

年に1回



- **検査項目**
問診
胸部X線検査
喀痰細胞診
(問診で必要と判断された場合)
- **内容**
肺のX線写真を撮ります。また喀痰細胞診では、痰の中にかん細胞がないかを検査します。
- **二次検査**
《胸部CT検査》
肺の断層写真をミリ単位で撮影し、病変の大きさや形などを検査します。
《気管支鏡検査》
口や鼻から気管支鏡を入れて、がんなどがいないかを調べる検査です。また必要に応じて悪性の組織が混じっていないか、組織を採って（生検）調べます。
※二次検査での喀痰細胞診の検査は不適切であり、おすすめしておりません。

肺がんだけではない！？

タバコとがん

わが国のがん死亡者数ともっとも関連が深い危険因子は、喫煙だということがわかってきました。男女合わせて、年間約77,400人の方が喫煙が原因のがんで亡くなっており、約128,900人の方が喫煙が原因で亡くなっています。

(平成19年 わが国におけるリスク要因別の関連死亡者数より)

ご自分とご家族の
健康の為に
『禁煙』を
おすすめします！



乳がん検診

最低でも2年に1回



- **検査項目**
問診
マンモグラフィ
乳房超音波検査
- **内容**
マンモグラフィは乳房を片方ずつはさんで、X線写真を撮ります。超音波検査は乳房に超音波を当て、断面を映し、がんなどがないかを検査します。
- **二次検査**
《マンモグラフィの追加撮影》
部位を特定してさらに詳しく、悪性の石灰化などがいないかを撮影します。
《乳房超音波検査》
乳房の超音波を当て、悪性の腫瘍（しこり）がないかを検査します。
《細胞診・組織検査》
必要に応じて悪性の組織が混じっていないか、組織を採って（生検）調べます。

子宮頸がん検診

最低でも2年に1回



- **検査項目**
問診
子宮頸部の細胞診検査
- **内容**
子宮頸部の細胞をブラシで擦り取り、顕微鏡で悪性細胞の有無を検査します。
- **二次検査**
《コルポスコープ》
子宮頸部を拡大して観察する検査です。
《組織検査》
異常な部分の組織を採って（生検）、がんの判定やさらに進行度などを検査します。
《HPV検査》
HPV（ヒトパピローマウイルス）に感染しているかを調べる検査です。

子宮頸がん検査は20歳以上の女性が対象